

プレスリリース

ペグやポールの収納問題をパカーン！と解決。
「スラッシュペグパッカーン(40)」、「スラッシュポールパカーン(60)」発売。

弊社アウトドア用品ブランド「[DOD\(ディーオーディー\)](#)」は、2022年6月7日、パカーンと大きく開口するいさぎよさが特徴的なペグバッグ「スラッシュペグパッカーン(40)」およびポールバッグ「スラッシュポールパカーン(60)」の予約受付を開始しました。

ペグやポールはキャンプに欠かせないアイテムの1つ。しかし、車での運搬時にカチャカチャとうるさかったり、中身がグチャグチャに混ざって必要なものを取り出すのに一苦労、と小さなストレスを抱えている方も多いのでは？そこで、斜線(スラッシュ)構造のファスナーがパカーンと開く本製品を企画。いさぎよく大きく開き、さらに中が2室に分かれているため、中身が混ざらず必要なものをひと目で見つけることができます。まるで年齢のような(40)、(60)は中に収まるペグやポールの長さを示しており、30cmペグにちょうど良い「[スラッシュペグパカーン\(30\)](#)」も好評発売中です。



スラッシュペグパッカーン(40) : https://www.dod.camp/product/bq1_964_bk/

スラッシュポールパカーン(60) : https://www.dod.camp/product/bq1_965_bk/

■企画者のヒトコト■

スラッシュペグパカーン(30)の唯一の欠点が40cmペグが入らないということでした。これでもう完全無欠のペグバッグ(ポールバッグ)シリーズです。

■広報ツジのヒトコト■

スラッシュポールパカーン(60)にはペグ収納に便利なデージーチェーンも装備。ペグ、ポール、ロープ、ハンマー、と設営に必要なだけつつい忘れがちなアイテムをがさっとまとめて持ち運べるのは安心ですね。

■製品特徴■

1. パカーンと開くスラッシュ(斜線)開口

ペグやポールを取り出しやすいようにファスナーをパカーンと開けることができます。大きく開くので必要なものがすぐ見つかります。



2. ゴチャゴチャしない2気室設計

ペグ、ポールの長さや種類に応じて分けることが出来る2気室仕様。



3. 40cmのペグ、60cmのポールがすっきり収納

「スラッシュペグパッカーン(40)」には40cmまでのペグ、「スラッシュポールパカーン(60)」には60cmまでのポールがすっきり収納できます。



5. 持ち運びに便利なインナーハンドル付き

ファスナーをパカーンと開けた状態でも持ち運びができるインナーハンドル付き。クッション材が入っているので手が痛くなりやすいです。



6. しっかり芯材で形ずれしにくい

箱型で板材も入っており、しっかり自立します。クッション材も入っているので持ち運び時にカチャカチャなりにくい仕様です。



■スペック■

【ブランド名】 DOD(ディーオーディー)

【製品名】 スラッシュペグパッカーン(40)/ スラッシュポールパカーン(60)

【型番・カラー】 BG1-964-BK / BG1-965-BK・ブラック

【サイズ】 (約)W46×D16×H16cm / W67×D19×H19cm(ハンドル部分を除く)
(約)W46×D16×H19cm / W67×D19×H22cm(Hはハンドル部分を含む)

【重量(付属品含む)】 (約)900g / 1650g

【材質】 表地: 2520Dポリエステル(撥水・防汚加工)

裏地: 210Dポリエステル(撥水・防汚加工)

【静止耐荷重】 各気室 5kg(合計10kg)

【セット内容】 製品本体

【参考価格】 4,400円 / 6,600円(税込)

※映画・TV プログラム・誌面づくりの撮影用小道具として、

またイベントでの使用等、製品の貸出し、プレゼント企画につきましてもお気軽にお声掛けください。

※必要な画像は製品ページよりご利用ください。

紙面掲載等で高画質画像が必要な場合は別途ご連絡ください。

なお、掲載いただける前に一度ご連絡いただくようお願いいたします。

その他質問等お気軽にお問い合わせください。

■お問い合わせはこちら ■

DOD担当 棚村(たなむら)、辻(つじ)

[Tel] 050-5306-1902(広報直通)

[住所] 大阪府東大阪市川俣1丁目14番33号

[E-Mail] pr@be-s.co.jp

[お問い合わせフォーム] [こちら](#)

※送付が不要な場合は、誠にお手数ではございますが、上記アドレスまで「送付不要」の旨、ご返信お願いいたします。

DODブランドコンセプト

Stay crazy !

DODはクレイジーなアウトドアブランド。

子供みたいに圧倒的な遊び心を持ち続けることで、良い意味でクレイジーな大人を増やすことをミッションとしています。

